

演題名 **段差2.4m 2世帯住宅改修事例のバリアフリー工事**

御所属 (株)山六 介護ショップミニロクメイト

斉藤 博人

講師

内容

【総合的状況】

22歳 男性、ギランバレー症候群、四肢麻痺、歩行不可、車いす、両親、祖父と同居、戸建・2世帯住宅

【改修の目的】

車いす外出を可能にする。車いす屋内移動を容易にする。介助し易い環境を造る。

【問題点】

合計2m40cmの段差解消必要。1—2階間の行き来は玄関を一度出ないとできない。

【検討課題・検討結果】

道路から寝室までの移動ルートを3つの候補から選定し、リフト設置場所を選んだ。

【改修内容】

リフトピット工事・リフトの設置。

コンクリートスロープ工事(リフト降り口～勝手口)

スロープの設置(勝手口ドア敷居)

間仕切壁新設・引き戸工事(DK～寝室)

間仕切り壁撤去工事(玄関)

【工夫した点・残念な点】

最短距離、段差箇所が少ないルートを探し、リフトとスロープを併用した。

屋外リフトは対象にならない。(屋内は対象)

【改修費用】

¥3,830,000円 うち住宅設備改善費の支給 641,000円 本人負担3,073,100円

【大事なこと】

ご利用者様、介護されるご家族の希望、不安をくみ取る。上記をもとに出来るだけ実現の可能性を探る。現場調査からお見積り、市役所申請、着工まで敏速に行う。

